

令和元年度情報交換会ふりかえり

<経過>

第1回 8月29日(木) 14:00 講堂 参加26名

テーマ:「これって、差別?」—障害者差別解消推進条例を学ぶ—

講師:名古屋市障害者差別相談センター 吉川 琢夫センター長

内容:①条例説明 ②相談事例集「これって、差別?」の紹介
③事例検討(グループワーク)

第2回 11月22日(金) 14:00 講堂 参加21名

テーマ:「強度行動障害者への支援について学ぶ」

講師:社会福祉法人 大府福祉会 たくと大府施設長 林大輔氏

内容:①事例報告 ②グループワーク(講演への質問) ③発表
④各グループの質問に答える形で講演

第3回 3月13日(金) 14:00 講堂 中止

テーマ:前半 部会の活動交流 後半 初めてのボッチャ

<総括>

①昨年度の情報交換会が、部会結成の目的を達成(就労部会と児童部会)したことを踏まえ、今年度は、地域での福祉課題をテーマとして、第1回目は「差別解消推進条例施行」を、第2回目は「強度行動障害支援」をとりあげた。どちらも、専門の講師をおよびするとともに、グループワークを実施し、自分たちの問題としてふりかえる契機となった。今回の学びを端緒として、今後同テーマでの継続した取り組みが必要である。

②最後の第3回目には、パラリンピック開催とともに関心が高まっている「ボッチャ」をとりあげたが、新型コロナウイルスの感染対策として中止となり残念であった。また、同時に、協議会活動の柱となる部会活動の交流を昨年度に引き続き実施した。これは、地域の福祉課題を広く募ることにより、2020年度の情報交換会のテーマを設定する目的があった。そのため、中止した情報交換会に代わるものを考えていく必要がある。

③参加者は、どの会も30名の参加者が目標であったが、7~8割の達成に留まった。特に、11月の開催は研修やイベントが多く、期日の設定に注意すべきであった。また、事業所の種類によっては、参加しやすい時間帯があるため(例えば、児童なら午前中)、開催する時間帯を変えていくことも検討すべきである。